

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

様々な症状を起こす溶連菌感染症の1つ

1 病原体名

A群溶血性レンサ球菌

2 年齢層

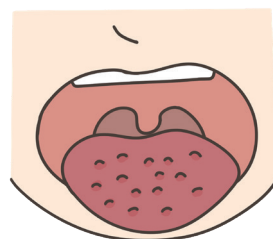
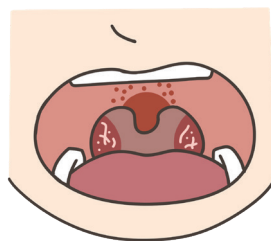
学童期を中心に全年齢層

3 潜伏期間

2～5日間

4 症状とケア

- ☑ 突然の発熱やのどの痛みで発症します。
しょうこう熱（赤い発しん）がみられるが、口の周り
は白いままのことが多いです。
- ☑ のどのはれやイチゴ舌が現れることがあります。
- ☑ 皮膚にも症状が出る場合があります。皮膚がはれて
いる、痛みが強くなるときは受診しましょう。
- ☑ 熱があるときは、こまめに水分をとりましょう。活
気がなく、ぐったりしているときは受診しましょう。



5 診断と治療

- ✓ のどをぬぐって迅速診断検査を行います。細菌培養検査を行う場合もあります。
- ✓ 抗生物質(ペニシリン系)を10日間内服します。
- ✓ 脱水症状や肺炎を起こしている場合は、入院治療が必要になることがあります。

6 家庭に持ち込まないために

- ✓ 感染経路は飛まつ感染と接触感染です。
- ✓ 石けんを使った手洗いやアルコール消毒液を使った手指消毒、せきエチケットが大切です。

7 家庭で拡げないために

- ✓ 抗生物質を飲み始めると、24時間ほどで周囲に感染しなくなります。症状改善後も、処方された薬は飲み切りましょう。
- ✓ よく触れる共用部分や、子どもが日常的に触れるおもちゃの消毒は、アルコールや次亜塩素酸ナトリウム液が有効です。

